

平成20年度に市から埼玉県に対して、首都圏中央連絡自動車道「圏央鶴ヶ島インターチェンジ」周辺地域の整備に関する要望書を提出し、農業大学校用地の活用を含めた整備計画がスタートしました。

企業誘致による産業系の土地利用とともに豊かな自然環境を保全し、産業集積と緑地・水辺の保全を両立した土地利用を図るため、埼玉県と市が連携して事業が進められてきました。

東日本大震災の影響やオオタカの営巣調査による農業大学校の移転の延期など、事業の進捗に遅れが生じたものの、産業用地の創出、緑地エリアやスポーツ活用ができる調整池などの整備が完了しました。

令和2年11月1日をもって、全ての区画の管理が市に移管されたことを受け、市議会では、11月9日に現地の整備状況を視察しました。



北側産業用地 13.61ha

(株)IH鶴ヶ島工場が建設され、本格操業に向けて準備が行われています。



南側産業用地 10.10ha

現在は未活用の状態です。今後、埼玉県による企業誘致が期待されます。

